地域交流センター（仮称）ができるまで vol.05

PICK UP ------- 交流センターの「愛称（あいしょう）」を募集します！！ ---------

みんなに愛される交流センターの名前を考えよう！！

その①_参考事例をみてみよう！！

愛称：tette（テッテ）
須賀川市民交流センター

愛称：つなーで
土佐市複合文化施設

愛称：結いの森
多賀町中央公民館

他にも…

TETTO（てっと）	釜石市民ホール
KIRIRI（きりり）	三次市民ホール
hoKko（ほっこ）	北上市子育て支援施設
くらら	東広島芸術文化ホール
なちゅら	飯山市文化交流館
しこちゅ～ホール	四国中央市市民文化ホール

その②_「愛称」はどうやって考えるの！？

①小さい子からお年寄りまで、みんなが呼びやすく覚えやすい「愛称」にしよう！
②南国市らしさが伝わる「愛称」にしよう！
③みんなに自慢できるような「愛称」にしよう！

みんなのアイデアで
まちの活性化に繋がるような
魅力があって親しみが持てる
「愛称」にしよう！！

その③_「愛称」はどうやって応募するの！？

応募資格：どなたでも応募できます。
応募期間：令和３年５月１日～令和３年５月31日
応募方法：所定の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、南国市生涯学習課まで持参、FAXまたは郵送してください。
（電子メールでもご応募いただけます。）
※応募用紙は、南国市役所総合案内（１階）、市役所支所、市立小中学校、県立高等学校（南国市内）、市立公民館にて配布します。（南国市ホームページからダウンロードもできます。）
賞金　：クオカード３万円分（１点）
応募先　：〒783-8501 高知県南国市大埇2301番地　南国市生涯学習課
TEL：088-880-6569　FAX：088-880-6201　E-mail：n-jinken@city.nankoku.lg.jp

今月のまるまるさん ---- こんな「愛称（あいしょう）」を期待しています！ ---

南国市地域交流センター（仮称）は、多目的ホール（５００席）を持つ市民が待ち望んだ文化施設です。生涯学習の充実だけではなく、世代を超えた交流を促すイベントや空間をつくり、市民交流によるまちの活性化に繋がる魅力ある愛称を募集します。施設のコンセプトである「市民のための文化の拠点」に沿った親しみが持てる愛称をお待ちしています。

---- 次回予告 !!----

「地域交流センターができるまで vol.06」では、公民館エリア（その２）の使い方についてご紹介をします！！

南国市立図書館キャラクター
とします犬　本太（いぬぽんた）

南国市立図書館
開館　（火）～（金）10：00～18：00
（土）・（日）10：00～17：00
５月休館日　毎週(月)、4～5日、28日
住所　南国市篠原1801-5
電話　088-863-0469

新刊のご紹介

一　般

オルタネート　／加藤シゲアキ
物語のものがたり　／梨木香歩
君の傷跡　／藤野恵美
泳ぐ者　／青山文平
骨を追え　／堂場瞬一
大人の流儀(10)　／伊集院静
野の花拡大図鑑　／岩槻秀明
フランスの小さくて温かな暮らし365日　／荻野雅代
リノベとリフォームの、何ができない何ができるのすべてがわかる本　／主婦の友社
海洋堂創世記　／樫原辰郎
新コンパクト地図帳2021－2022

児　童

ろくじいさんのゆずおふろ(紙芝居)
パラリンピックは世界をかえる　／ローリー・アレクサンダー
区立あたまのてっぺん小学校　／間部香代
おとうさんのかお　／岩瀬成子
ぱんつさん　／たなかひかる
朝日ジュニア学習年鑑2021

毎月約300冊の新刊が入ってます

こどもの読書週間(4/23～5/12)

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことでしょうか。
子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それがこの「こどもの読書週間」です。

5月の企画展示

「SDGs を知る」など

5月の十市（とおち）出張図書館

日時：5月12日(水)13:30～14:30
場所：十市高齢者多世代交流プラザ
１Fロビー

おはなし会へいらっしゃい♪

予約不要、3階多目的室へお気軽にお越しください。

土曜のおはなし会
＊3歳児以上対象
毎週(土)10:15～10:45

あかちゃんのへや
＊0～3歳児対象
毎月第2(木)10:30～10:50

※おはなし会は新型コロナウイルス流行等の状況により休止となる可能性があります。

南国市立図書館 職員が選ぶ！　今月のオススメ新刊

「『ニュートリノと重力波』のことが一冊でまるごとわかる」

郡　和範／著

ニュートリノと重力波。聞いたことはあるけど見たことはありません。もちろん、普通の意味で「見る」ことはできないのでしょうが、科学者のいう『見る(観測する)』というのは、どうにも禅問答のようで…。そんな人にも楽しめる本です。

「トコトンやさしい ウェアラブルの本」

塚本　昌彦／著

身に着けるコンピュータ。今ではウルトラセブンの腕時計型テレビ電話よりもすごい機能が満載されています。でも、使いこなすのは難しそうな気がする。そこのところを、やさしく教えてくれる本です。

「OFF GRID LIFE 自然とつながる、住みかをつくる」

フォスター ハンティントン／著

ツリーハウスにあこがれなかった子どもはいないのではないでしょうか。大人になった今でもあわよくば…と思ってしまいます。この本には、それを実現した人たちが登場します。人生を楽しむのに、お金はあまり必要なさそうです。